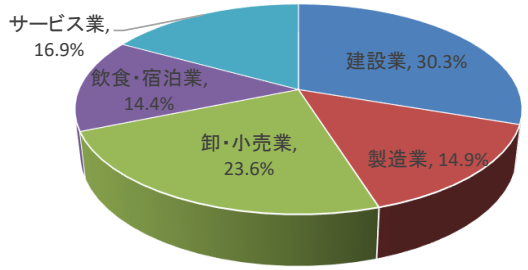
十日町市地域 企業景況調査 第4四半期報告書（R4.1.1～R4.3.31）松之山地区

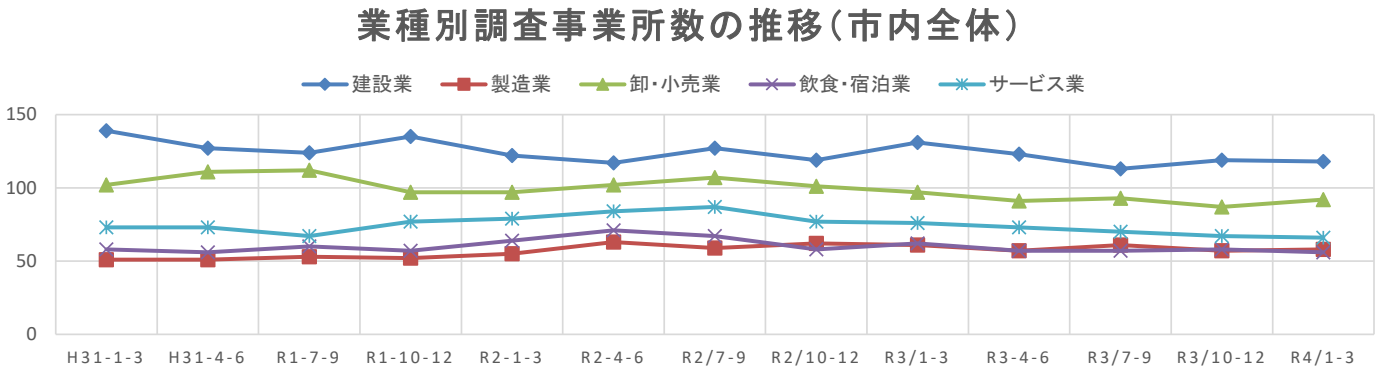
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

＜十日町市内全体＞

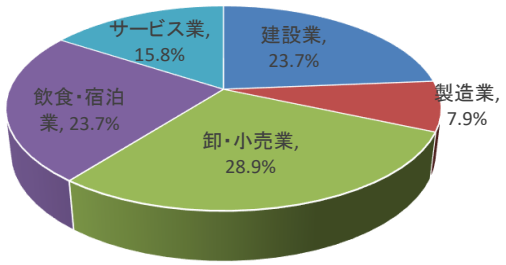


	事業者数	構成比
建設業	118	30.3%
製造業	58	14.9%
卸・小売業	92	23.6%
飲食・宿泊業	56	14.4%
サービス業	66	16.9%
全業種合計	390	100.0%

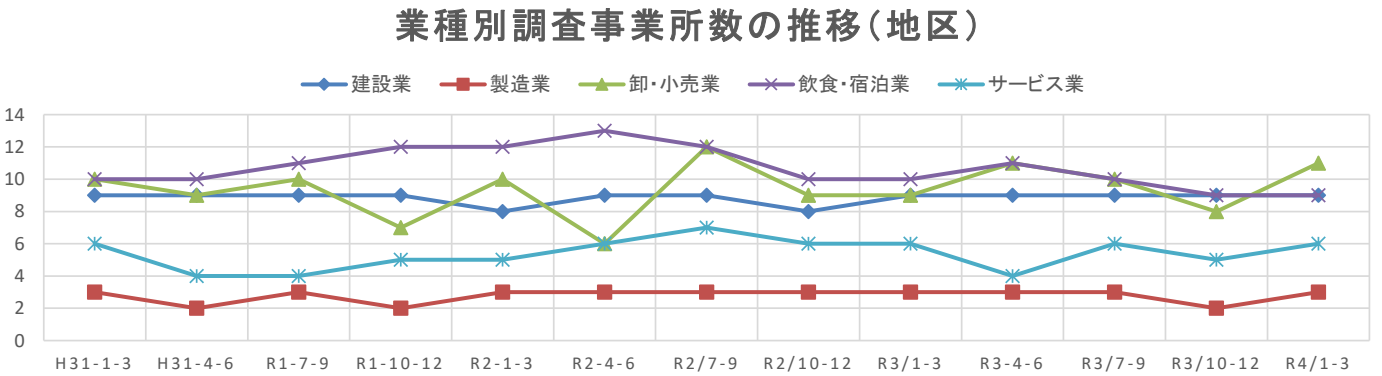


＜コメント＞
　今回の調査は、十日町市内390事業所から回答を得られ、前回調査よりも2事業者増加している。建設業と飲食・宿泊業、サービス業で若干減少があったものの、製造業の増加が大きく、構成比については大きな差はないものとなっている。

＜地区別：松之山地区＞



	事業者数	構成比
建設業	9	23.7%
製造業	3	7.9%
卸・小売業	11	28.9%
飲食・宿泊業	9	23.7%
サービス業	6	15.8%
全業種合計	38	100.0%



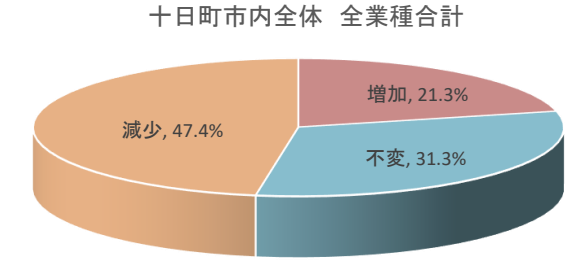
＜コメント＞
　松之山地区の今期の調査回答状況は、配布61事業所の内３８事業所から回答があり、回収率は62.3%であった。前回回答が少なかった卸・小売業も増加し、過去の実績同様の数値となった。構成割合は地域内企業のバランス通りと言える。

ＤＩ値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－(減少・悪化などの回答割合)

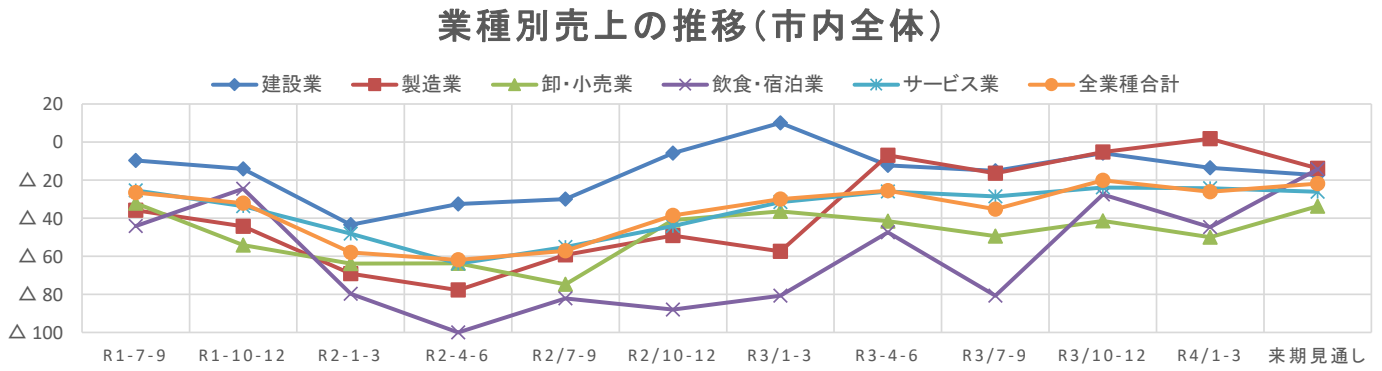
１．売上について

・１月～３月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

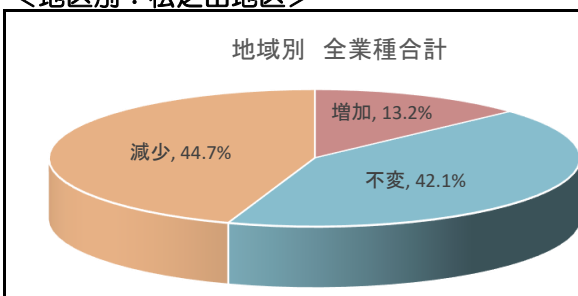


	増加 %	不変 %	減少 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	22.9%	40.7%	36.4%	△ 13.6	△ 5.9	△ 17.4
製造業	41.4%	19.0%	39.7%	1.7	△ 5.3	△ 13.8
卸・小売業	14.1%	21.7%	64.1%	△ 50.0	△ 41.4	△ 33.7
飲食・宿泊業	14.3%	26.8%	58.9%	△ 44.6	△ 27.6	△ 14.3
サービス業	16.7%	42.4%	40.9%	△ 24.2	△ 23.9	△ 26.2
全業種合計	21.3%	31.3%	47.4%	△ 26.2	△ 20.1	△ 21.8

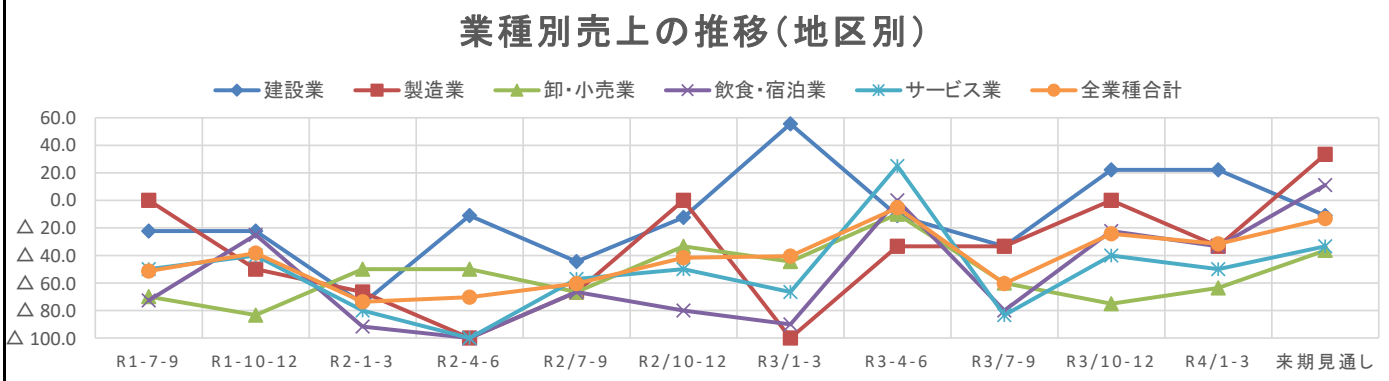


＜コメント＞　十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△26.2ポイントで、前回調査時よりも6.1ポイント低下となっている。製造業では上昇となったものの、その他業種について低下となった。来期見通しでは、卸・小売業、飲食・宿泊業で大きく上昇見通しとなることを受け、全業種DI値も上昇する見通しである。

＜地区別：松之山地区＞



	増加 %	不変 %	減少 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	33.3%	55.6%	11.1%	22.2	22.2	△ 11.1
製造業	0.0%	66.7%	33.3%	△ 33.3	0.0	33.3
卸・小売業	9.1%	18.2%	72.7%	△ 63.6	△ 75.0	△ 36.4
飲食・宿泊業	11.1%	44.4%	44.4%	△ 33.3	△ 22.2	11.1
サービス業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	△ 40.0	△ 33.3
全業種合計	13.2%	42.1%	44.7%	△ 31.6	△ 24.2	△ 13.2

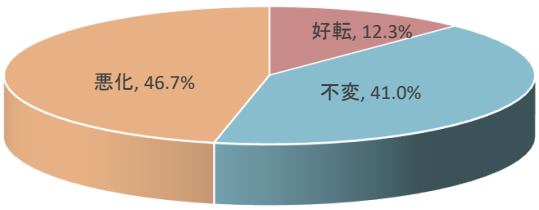


＜コメント＞　松之山地区の今期の売上状況は、全業種DI値で△31.6ポイントで、前回調査時よりも7.4ポイント減少となった。まん延防止等重点措置が発令され、時短営業等の影響で飲食・宿泊業の売上減少が見られたことと製造業での減少が大きく出ている。来期見通しでは建設業以外の業種で増加予測されており、全業種DI値も増加を示している。

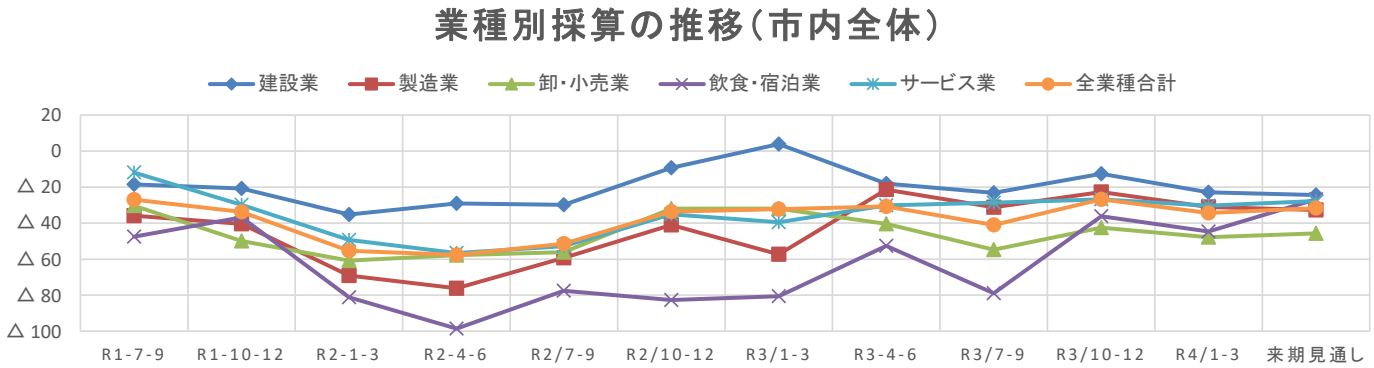
2．採算について

・１月～３月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

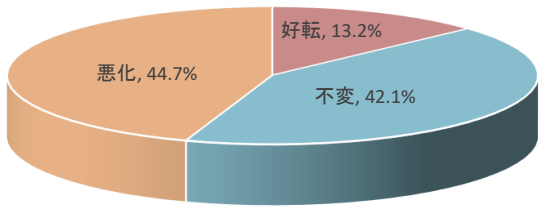


	好転 %	不変 %	悪化 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	15.3%	46.6%	38.1%	△ 22.9	△ 12.6	△ 24.3
製造業	19.0%	31.0%	50.0%	△ 31.0	△ 22.8	△ 32.8
卸・小売業	5.4%	41.3%	53.3%	△ 47.8	△ 42.5	△ 45.7
飲食・宿泊業	14.3%	26.8%	58.9%	△ 44.6	△ 36.2	△ 26.8
サービス業	9.1%	51.5%	39.4%	△ 30.3	△ 26.9	△ 27.7
全業種合計	12.3%	41.0%	46.7%	△ 34.4	△ 26.8	△ 31.6

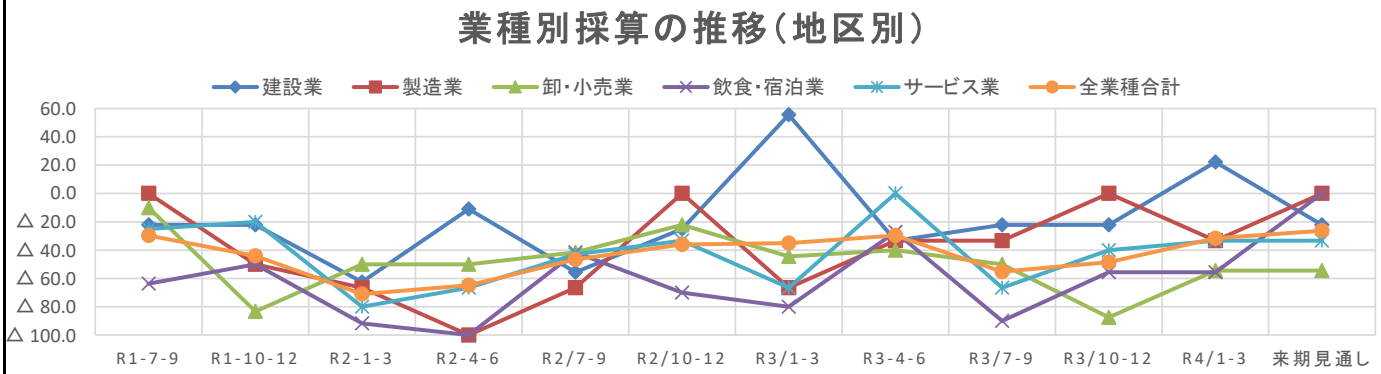


＜コメント＞　十日町市全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△34.4ポイントで、前回調査より7.6ポイント悪化している。全業種において悪化となり、特に建設業の割合が大きくなっている。しかし、来期見通しについては、建設業、製造業以外で改善見通しとなり、全業種DI値においても改善の見通しとなる。

＜地区別：松之山地区＞



	好転 %	不変 %	悪化 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	33.3%	55.6%	11.1%	22.2	△ 22.2	△ 22.2
製造業	0.0%	66.7%	33.3%	△ 33.3	0.0	0.0
卸・小売業	9.1%	27.3%	63.6%	△ 54.5	△ 87.5	△ 54.5
飲食・宿泊業	11.1%	22.2%	66.7%	△ 55.6	△ 55.6	0.0
サービス業	0.0%	66.7%	33.3%	△ 33.3	△ 40.0	△ 33.3
全業種合計	13.2%	42.1%	44.7%	△ 31.6	△ 48.5	△ 26.3

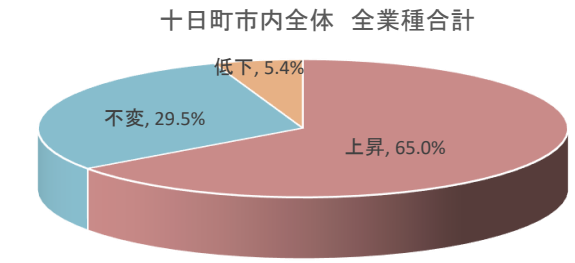


＜コメント＞　松之山地区の今期の採算状況は、全業種DI値で△31.6ポイントで、前回調査時よりも16.9ポイント好転となっている。製造業のみ前回調査時よりも悪化となっているが、その他の業種は前回調査時と同様、若しくは好転している。来期見通しでは建設業にて悪化予測されているが、製造業、飲食・宿泊業の好転予測があり、全業種DI値も今期よりも好転予測となっている。

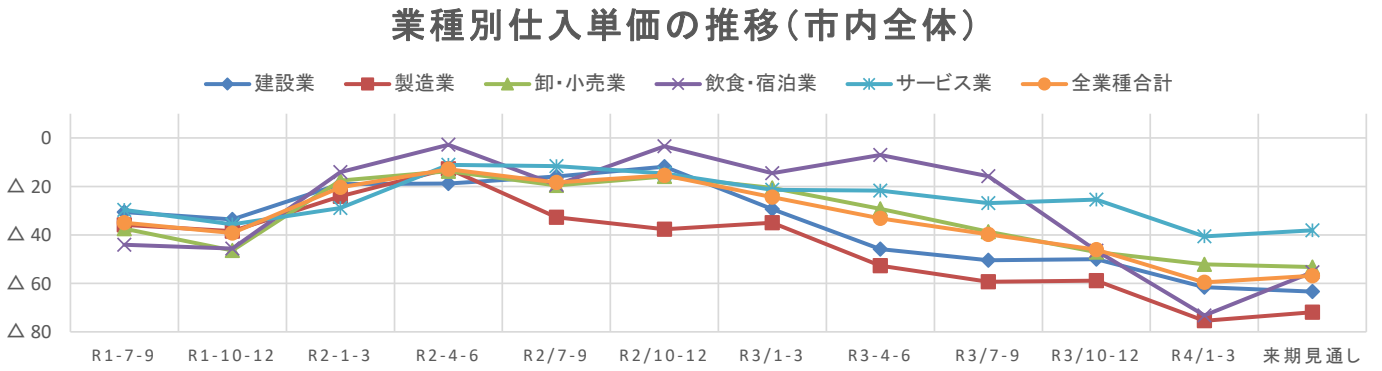
３．仕入単価について

・１月～３月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

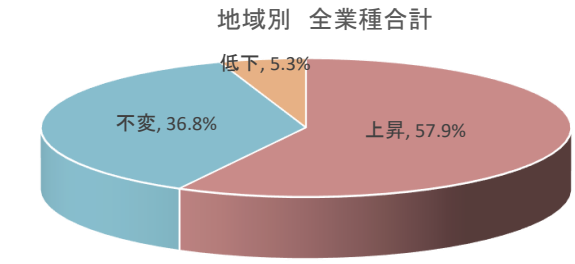


	上昇 %	不変 %	低下 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	65.8%	29.9%	4.3%	△ 61.5	△ 50.0	△ 63.4
製造業	78.9%	17.5%	3.5%	△ 75.4	△ 58.9	△ 71.9
卸・小売業	62.0%	28.3%	9.8%	△ 52.2	△ 47.1	△ 53.3
飲食・宿泊業	78.6%	16.1%	5.4%	△ 73.2	△ 46.6	△ 55.4
サービス業	43.8%	53.1%	3.1%	△ 40.6	△ 25.4	△ 38.1
全業種合計	65.0%	29.5%	5.4%	△ 59.6	△ 46.1	△ 56.8

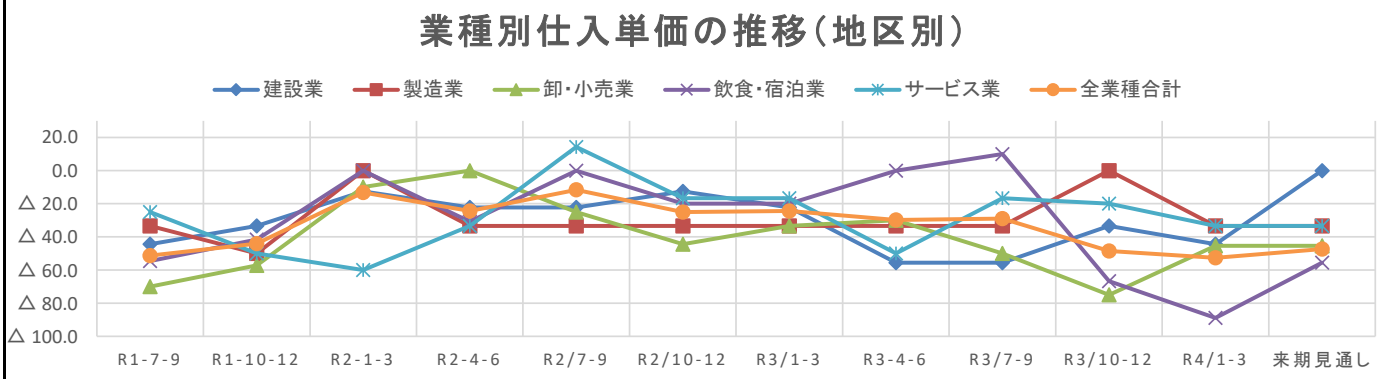


＜コメント＞　十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△59.6ポイントで、前回調査時よりも13.5ポイントの仕入単価上昇が見受けられる。全業種において仕入単価の上昇が目立つ結果となった。来期見通しとしては、建設業、卸・小売業以外の業種で仕入単価が低下する予測となり、全業種DI値においても仕入単価低下の見通しである。

＜地区別：松之山地区＞



	上昇 %	不変 %	低下 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	44.4%	55.6%	0.0%	△ 44.4	△ 33.3	0.0
製造業	33.3%	66.7%	0.0%	△ 33.3	0.0	△ 33.3
卸・小売業	63.6%	18.2%	18.2%	△ 45.5	△ 75.0	△ 45.5
飲食・宿泊業	88.9%	11.1%	0.0%	△ 88.9	△ 66.7	△ 55.6
サービス業	33.3%	66.7%	0.0%	△ 33.3	△ 20.0	△ 33.3
全業種合計	57.9%	36.8%	5.3%	△ 52.6	△ 48.5	△ 47.4

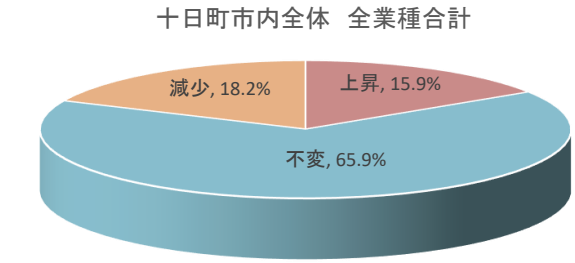


＜コメント＞　松之山地区の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△52.6ポイントで、前回調査時よりも4.1ポイント上昇となっている。特に飲食・宿泊業ので大幅な価格上昇が見られ、食材の単価上昇が著しいものと推測できる。来期見通しでは建設業と飲食・宿泊業にて低下予測があるものの、全業種で見ると若干の改善しか出ておらず、今後も仕入単価は今期同様の状況が続くものと思われる。

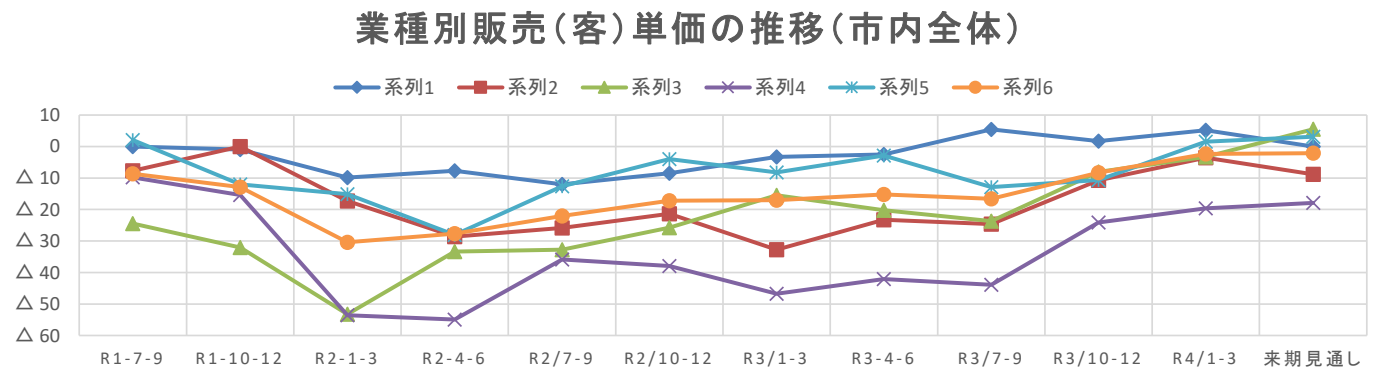
4．販売（客）単価について

・１月～３月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

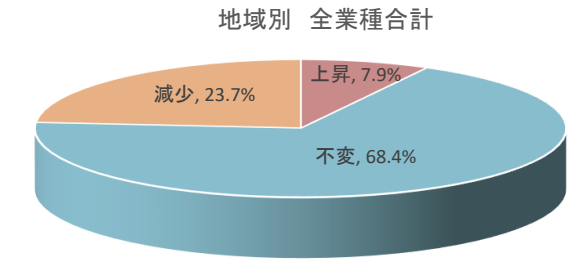


	上昇 %	不変 %	減少 %	今期DI	前期DI	来　期 見通しDI
建設業	15.7%	73.9%	10.4%	5.2	1.7	0.0
製造業	14.0%	68.4%	17.5%	△ 3.5	△ 10.7	△ 8.8
卸・小売業	22.0%	52.7%	25.3%	△ 3.3	△ 8.0	5.5
飲食・宿泊業	10.7%	58.9%	30.4%	△ 19.6	△ 24.1	△ 17.9
サービス業	13.8%	73.8%	12.3%	1.5	△ 10.6	3.1
全業種合計	15.9%	65.9%	18.2%	△ 2.3	△ 8.3	△ 2.1

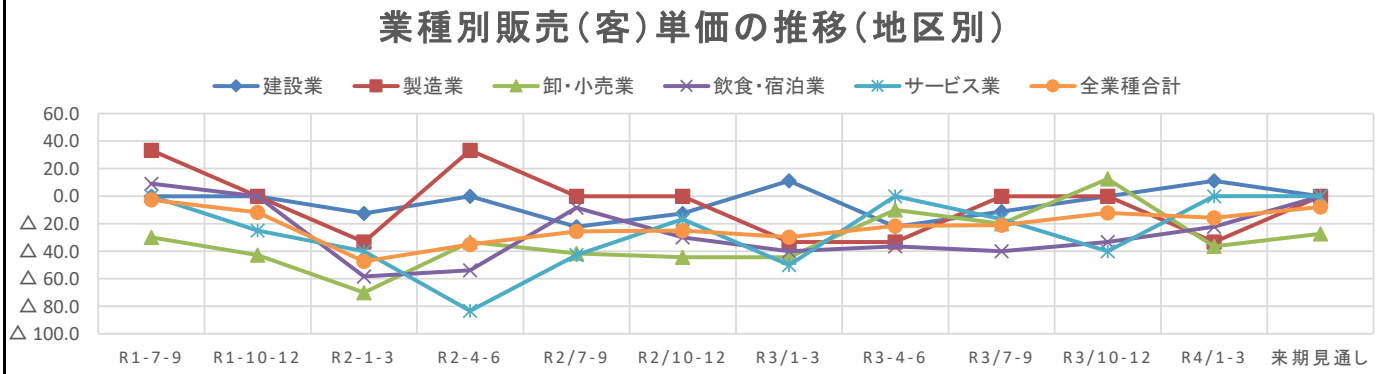


＜コメント＞　十日町市内全体の今期の販売(客)単価の状況は、全業種DI値で△2.3ポイントで、前回調査時より6.0ポイント上昇している。全業種で軒並み数値が上昇している。来期に関しては、製造業、建設業以外の業種で上昇予測となり、全業種DI値も若干の上昇見通しとなっている。

＜地区別：松之山地区＞



	上昇 %	不変 %	減少 %	今期DI	前期DI	来　期 見通しDI
建設業	11.1%	88.9%	0.0%	11.1	0.0	0.0
製造業	0.0%	66.7%	33.3%	△ 33.3	0.0	0.0
卸・小売業	9.1%	45.5%	45.5%	△ 36.4	12.5	△ 27.3
飲食・宿泊業	0.0%	77.8%	22.2%	△ 22.2	△ 33.3	0.0
サービス業	16.7%	66.7%	16.7%	0.0	△ 40.0	0.0
全業種合計	7.9%	68.4%	23.7%	△ 15.8	△ 12.1	△ 7.9

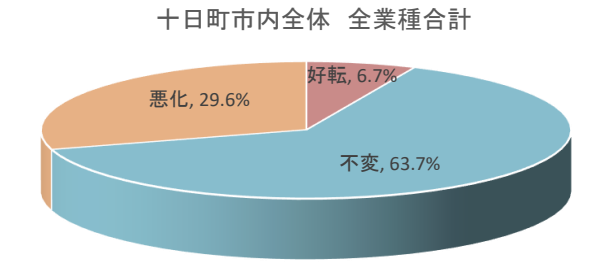


＜コメント＞　松之山地区の今期の販売（客）単価状況は、全業種DI値で△15.8ポイントで、前回調査時よりも3.7ポイント減少となっている。建設業とサービス業で上昇が見られたものの、製造業と卸・小売業にて低下が出ている。来期見通しでは建設業にて今期よりも低下が見られるものの、その他の業種では今期よりも上昇予測されており、全業種DI値も今期よりも改善するものと思われる。

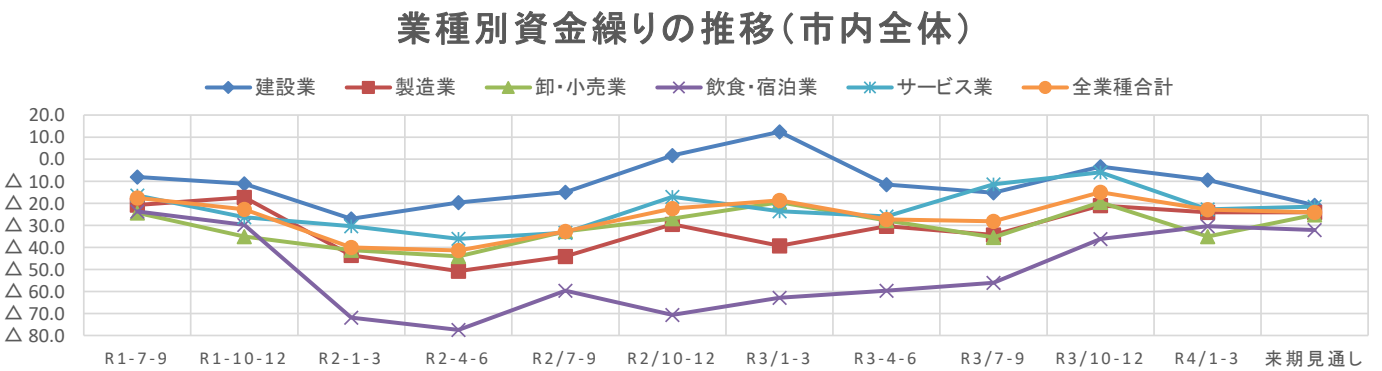
5．資金繰りについて

・１月～３月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

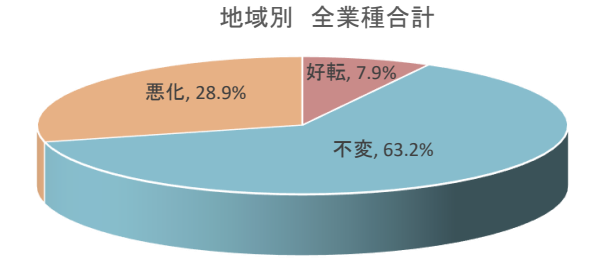


	好転 %	不変 %	悪化 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	10.3%	70.1%	19.7%	△ 9.4	△ 3.4	△ 20.9
製造業	3.4%	69.0%	27.6%	△ 24.1	△ 21.1	△ 24.1
卸・小売業	2.2%	60.4%	37.4%	△ 35.2	△ 19.5	△ 25.3
飲食・宿泊業	14.3%	41.1%	44.6%	△ 30.4	△ 36.2	△ 32.1
サービス業	3.0%	71.2%	25.8%	△ 22.7	△ 6.0	△ 21.5
全業種合計	6.7%	63.7%	29.6%	△ 22.9	△ 15.0	△ 24.2

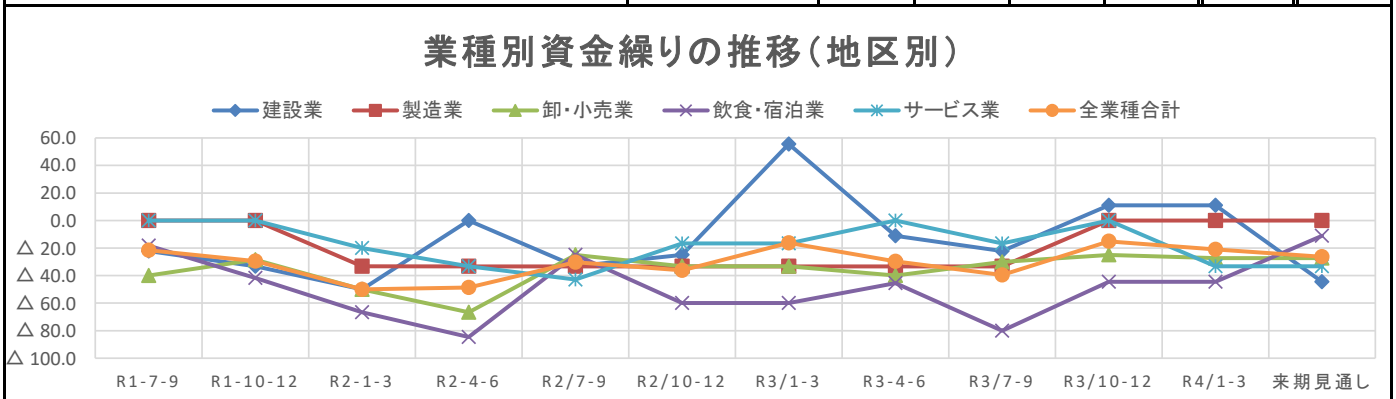


＜コメント＞　十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△22.9ポイントで、前回調査時より7.9ポイント悪化している。飲食・宿泊業以外の業種において悪化が見受けられる中、特に卸・小売業、サービス業の割合が大きくなっている。来期見通しは、卸・小売業とサービス業で改善予測であるが、その他業種では、不変もしくは悪化予測となる。また、全業種DI値についても悪化する見通しとなる。

＜地区別：松之山地区＞



	好転 %	不変 %	悪化 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	22.2%	66.7%	11.1%	11.1	11.1	△ 44.4
製造業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0
卸・小売業	0.0%	72.7%	27.3%	△ 27.3	△ 25.0	△ 27.3
飲食・宿泊業	11.1%	33.3%	55.6%	△ 44.4	△ 44.4	△ 11.1
サービス業	0.0%	66.7%	33.3%	△ 33.3	0.0	△ 33.3
全業種合計	7.9%	63.2%	28.9%	△ 21.1	△ 15.2	△ 26.3

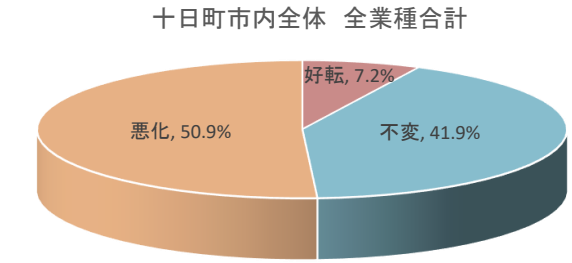


＜コメント＞　松之山地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値で△21.1ポイントで、前回調査時よりも５．９ポイント悪化となっている。サービス業にて前回調査時よりも悪化が示されているが、その他の業種は前回調査時とほぼ同じ数値であった。来期見通しでは建設業で大幅な悪化予測があるものの、飲食・宿泊業にて好転予測があり、全業種DI値では若干の悪化予測となっている。

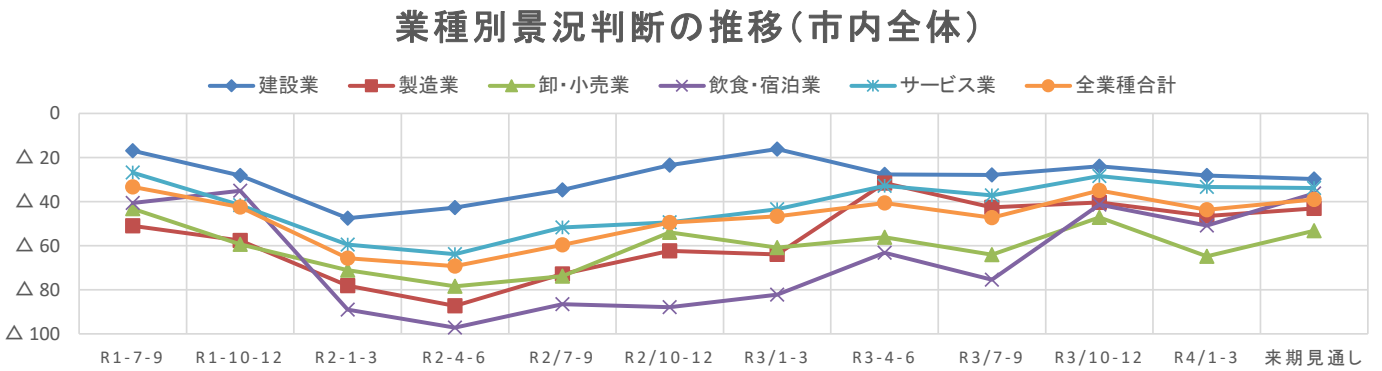
6．景況判断について

・１月～３月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞

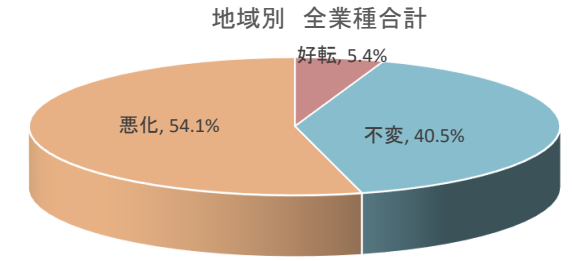


	好転 %	不変 %	悪化 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	10.3%	51.3%	38.5%	△ 28.2	△ 23.9	△ 29.8
製造業	6.9%	39.7%	53.4%	△ 46.6	△ 40.4	△ 43.1
卸・小売業	3.3%	28.6%	68.1%	△ 64.8	△ 47.1	△ 53.3
飲食・宿泊業	10.9%	27.3%	61.8%	△ 50.9	△ 41.4	△ 36.4
サービス業	4.5%	57.6%	37.9%	△ 33.3	△ 28.4	△ 33.8
全業種合計	7.2%	41.9%	50.9%	△ 43.7	△ 35.0	△ 39.1

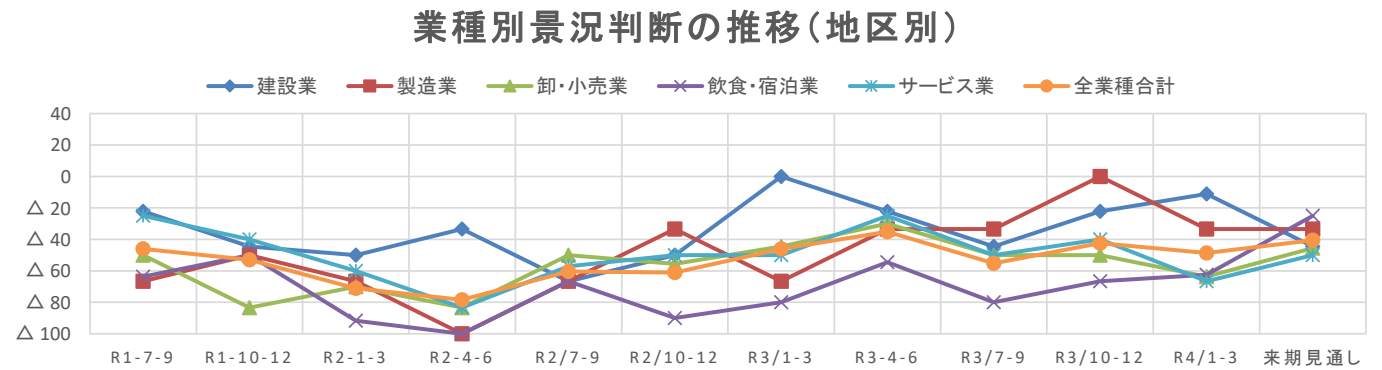


＜コメント＞　十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△43.7ポイントで、前回調査時よりも8.7ポイント悪化している。全業種において悪化が見受けられる中、特に卸・小売業の割合が大きくなっている。来期見通しは、建設業、サービス業以外の業種で好転予測となり、全業種DI値についても好転する見通しである。引き続き動向に注視したい。

＜地区別：松之山地区＞



	好転 %	不変 %	悪化 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	22.2%	44.4%	33.3%	△ 11.1	△ 22.2	△ 44.4
製造業	0.0%	66.7%	33.3%	△ 33.3	0.0	△ 33.3
卸・小売業	0.0%	36.4%	63.6%	△ 63.6	△ 50.0	△ 45.5
飲食・宿泊業	0.0%	37.5%	62.5%	△ 62.5	△ 66.7	△ 25.0
サービス業	0.0%	33.3%	66.7%	△ 66.7	△ 40.0	△ 50.0
全業種合計	5.4%	40.5%	54.1%	△ 48.6	△ 42.4	△ 40.5

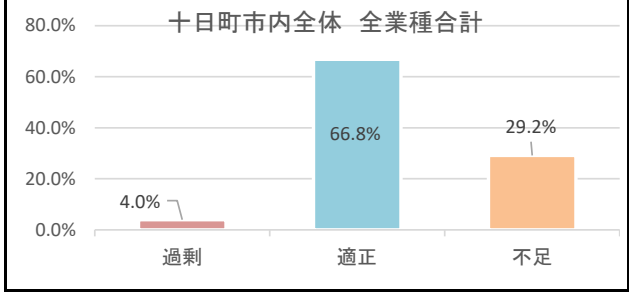


＜コメント＞　松之山地区の今期の景況判断状況は、全業種DI値で△48.6ポイントで、前回調査時よりも6.2ポイント悪化となっている。建設業と飲食・宿泊業で前回調査時よりも好転が見られたが、その他の業種は前回調査時より悪化となっている。来期見通しでは建設業にて悪化予測されているが、その他の業種で好転予測されており、全業種では今期よりも好転予測となっている。

7．従業員数について

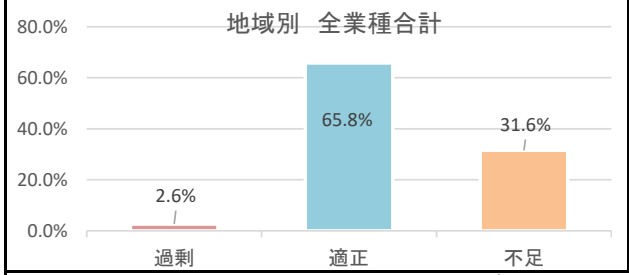
・１月～３月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

＜十日町市内全体＞



	過剰 %	適正 %	不足 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	1.7%	48.7%	49.6%	△ 47.8	△ 52.3	△ 51.8
製造業	10.9%	74.5%	14.5%	△ 3.6	1.8	3.6
卸・小売業	4.7%	79.1%	16.3%	△ 11.6	△ 14.6	△ 14.0
飲食・宿泊業	1.8%	70.9%	27.3%	△ 25.5	△ 20.8	△ 25.5
サービス業	3.0%	72.7%	24.2%	△ 21.2	△ 19.4	△ 24.6
全業種合計	4.0%	66.8%	29.2%	△ 25.2	△ 25.0	△ 26.3

＜地区別：松之山地区＞

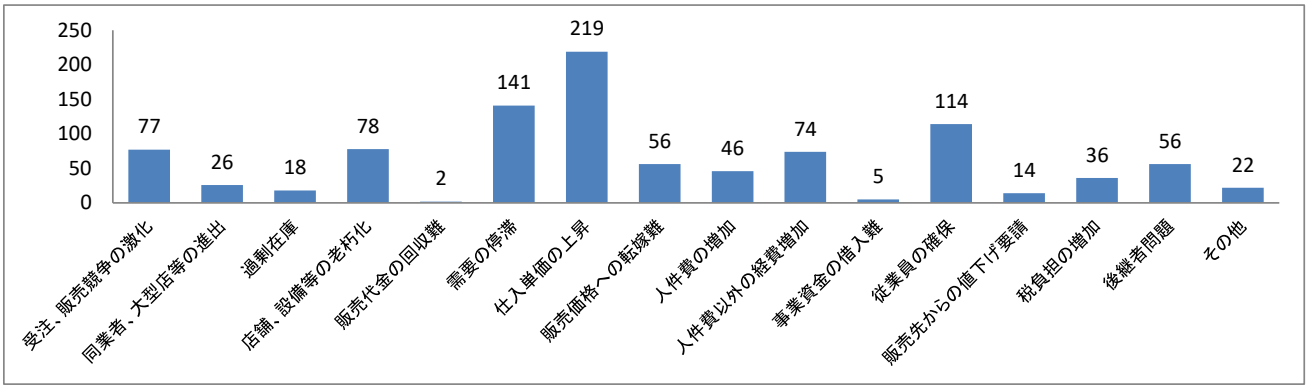


	過剰 %	適正 %	不足 %	今期DI	前期DI	来期見通しDI
建設業	0.0%	44.4%	55.6%	△ 55.6	△ 55.6	△ 55.6
製造業	0.0%	100.0%	0.0%	0.0	0.0	0.0
卸・小売業	9.1%	90.9%	0.0%	9.1	0.0	9.1
飲食・宿泊業	0.0%	55.6%	44.4%	△ 44.4	△ 33.3	△ 55.6
サービス業	0.0%	50.0%	50.0%	△ 50.0	0.0	△ 50.0
全業種合計	2.6%	65.8%	31.6%	△ 28.9	△ 24.2	△ 31.6

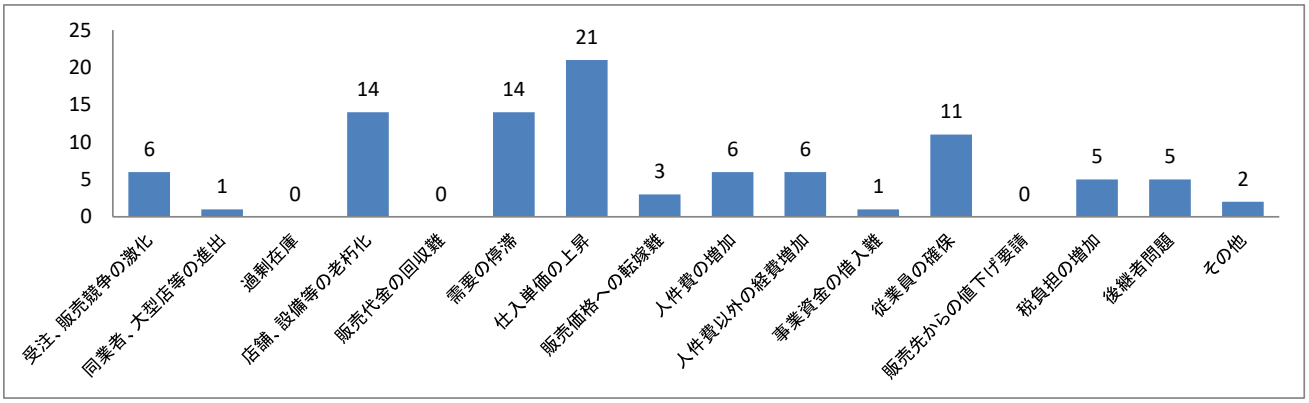
＜コメント＞　今期の従業員数(雇用動向)は、過剰回答が0.6%減少、不変回答が1.0%増加、不足回答が0.4%前回調査時よりも減少している。松之山地区の状況は、過剰回答が2.6%増加、不足回答が7.4%減少している。前回同様、建設業と飲食・宿泊業で不足回答されており、今期はサービス業も不足回答が多くあった。市内全体でも過剰よりも不足回答が多くあり、今後も人材不足が続くものと思われる。

8．経営上の問題点（上位３つ）：１月～３月

十日町市内全体　全業種合計



地域別　全業種合計



＜コメント＞　今回調査での経営上の問題点は、１位が「仕入単価の上昇」、２位が「需要の停滞」、３位が「従業員の確保」、４位が「店舗、設備等の老朽化」であり、「仕入単価の上昇」の割合が非常に大きくなった。

松之山地域の経営上の問題は、１位が「仕入単価の上昇」、２位が「需要の停滞」と「店舗、設備の老朽化」次いで「従業員の確保」であった。「仕入単価の上昇」は直接利益に影響することから、今後の動向に注視したいところである。

９．地区の景況概要

・１月～３月時点での全体概況は

【建設業】

松之山地区の今期の建設業の状況は、除雪作業がある冬期間でもあったことから売上、採算、資金繰り、景況判断状況において前回調査時からの良好な数値を維持できていた。ただし、燃料の高騰による仕入単価の上昇や従業員の確保が問題視されている。来期見通しは例年受注量が減少する時期でもあることから、採算、資金繰り、景況判断も今期よりも悪化予測となっている。

【製造業】

松之山地区の今期の製造業の状況は、売上の減少が大きく出ており、調査項目の大半で悪化（減少）が多く見られた。製造業も仕入単価の上昇が見られ、厳しい状況であったと推測できる。来期見通しでは売上も回復するものと予測されており、全ての調査項目で改善（上昇）予測となっている。

【卸・小売業】

松之山地区の今期の卸・小売業の状況は、売上の増加と仕入単価の減少が見られたものの、販売（客）単価の大幅な減少があり、景況判断が前回調査時よりも悪化となっている。来期見通しにて売上も増加予測されており、また、販売（客）単価も回復予測があり今期よりも改善するものと思われる。経営上の問題点は、「需要の停滞」と「仕入単価の上昇」が一番多く、次いで「店舗、設備の老朽化」となっている。

【飲食・宿泊業】

松之山地区の今期の飲食・宿泊業の状況は、まん延防止等重点措置が発令されていた時期であったことから売上の減少が見られ、併せて仕入単価の上昇が加わり、厳しい状態であったものと推測できる。来期見通しでは「まん防」も解除となったことから売上の増加予測もあり、今期よりも改善するものと思われる。経営上の問題点では、「仕入単価の上昇」が一番多く、次いで「店舗、設備の老朽化」となっている。

【サービス業】

松之山地区の今期のサービス業の状況は、他業種と同様、売上の減少と仕入単価の増加があり、景況判断も悪化している。来期見通しでは売上状況も増加予測されており、景況判断も好転予測となっている。経営上の問題点では、「従業員の確保」と「後継者問題」が多く回答されている。